

●日本アフリカ学会研究奨励賞（第37回）自薦のご案内

日本アフリカ学会は、有望な若手研究者によるアフリカ研究の発展を支援するため、研究奨励賞を設けています。『日本アフリカ学会研究奨励賞』に関する規定」第3条に基づき、評議員による推薦のほかに、会員が自らの著作を候補として推薦すること（自薦）ができます。

現在自薦を受け付けている第37回研究奨励賞の対象および条件等は次の通りです。

- ① 2022年10月1日～2024年9月30日に発表された研究論文あるいは著書であること。
- ② 受賞候補者は、著作の発表時点で、満40歳未満の正会員であること。
- ③ 受賞者は、翌年の学術大会において、賞状および副賞（10万円）の贈呈を受ける。

第37回研究奨励賞については、2025年度の学術大会で授与することになります。

自薦の要領は次の通りです。

- ① 「自薦書」を執筆すること。記載内容は、著作の表題、著者名、著者略歴、連絡先メールアドレス及び住所、出版社または掲載雑誌巻号、出版年月、および著作の意義等を記した1000字程度の推薦理由。
- ② 著作1部（コピー可。著書の場合は、書誌情報と本文の一部のコピーでも可）と上記の「自薦書」を、**2024年10月15日（火）（必着）**までに、学会事務局まで郵送すること。封筒の表に朱書きで「アフリカ学会奨励賞自薦書在中」と記すこと。

郵送先

〒603-8148 京都市北区小山西花池町1-8

（株）土倉事務所気付

日本アフリカ学会事務局

- ③ 共著についての取り扱い、および選考手続きについては、下記URLに掲載されている『日本アフリカ学会研究奨励賞』に関する規定」を参照すること。

<https://african-studies.com/award/syoreisyou/>

提出された文書、著作は土倉事務所および賞選考担当理事（副会長：津田みわ、高橋基樹）が取りまとめ、選考委員会に審査を委嘱して、結果を会長に提出します。ふらつてご応募ください。理系の分野からの推薦もお待ちしております。

日本アフリカ学会会長 武内 進一

※2021年度から、選考プロセスの円滑化のため、応募著作の対象期間を3か月前倒ししております。応募者におかれましては、上記スケジュールに十分ご注意ください。